

工場見学実施レポート

【参加グループ名】(公社) 広島消費者協会会員

【見学工場名】山陽乳業(株) 本社工場

【見学日時】2014年9月16日 9:30~17:00

【参加者数】25名

1. 工場見学と事業者の取り組みについて

食の安全への取り組みについて、平成11年にHACCPを導入され認定工場となった山陽乳業を見学した。工場の品質管理担当者より、原料受け入れから最終工程までの工程管理の方法について説明を受けた。徹底した管理で製造されている製品に対し、信頼と安全・安心をより深く理解し納得しました。



2. 講演「HACCPと食の安全性確保について」(宮城大学名誉教授 池戸 重信 氏)

HACCPのやり方は、国際的ルールにより、我が国でも食品製造業が自主的に導入している。大手事業者は8割導入しているが、中小は27%にとどまっている現状を知り、さらなるHACCP導入の必要性を感じた。



3. 見学後の感想

10年後の義務化を目指しているとのことですが、工場見学決定後、販売店を20店舗以上廻りましたが、HACCPのマークが表示された牛乳を購入できたのは、デパートの1ヶ所でした。山陽乳業にお聞きした所、販売社名になっているのでHACCPは入らないとのことでした。HACCPはシステムであっても製品に入っていれば、消費者は、より安全・安心を確認し購入できます。流通事業者にも表示をしていただくよう要望します。消費者協会としては、しっかりシステムをPRし、今後も注視しながら製品を選択していく所存です。